

I 本冊子の活用にあたって

本冊子は社会教育分野における人権教育を行う指導者のための資料として作成しました。以下を参考にし、御活用ください。

●内容

この冊子は、話を聞くだけではなく参加者同士が「ワーク」を通して語り合い、人権問題を主体的に学ぶ参加型の学習プログラムとなっています。それぞれの「ワーク」は、身近な生活に見られるエピソードを人権の視点で捉え直し、「気づき」「深め」「行動」へつなげるものとなっています。それぞれの「ワーク」を活用していただくとともに、学習者の状況や地域の学習課題を踏まえ、工夫を凝らしてお互いの学びを深めてください。

●構成

この冊子は、①冊子を使うにあたって ②ワークシート編 ③解説編の3部から構成しています。ワークシート編は、参加者が使う各人権問題別のワークシートになっています。解説編では、地域で人権教育を推進していくうえでの必要な内容や各人権問題別にワークシート活用例・解説を掲載しています。また、アイスブレイキングの手法や人権問題に関する相談窓口一覧も掲載していますので、必要に応じて活用してください。

●進め方 ～ファシリテーターの方へ（「ファシリテーターの役割」は解説編P25をご覧ください）～

①目的

参加者とともに何を考え、何を学ぶのか、学習の目標やねらいを確認しましょう。

②参加者の把握

参加者のニーズ（要望）を把握することが大切です。事前にアンケートなどを実施してもよいでしょう。

③会場

参加者の倍程度の人数が収容できる広さが必要です。できれば、床が平面で机と椅子が移動できる会場にしましょう。

④時間配分

「気づき」から「行動」につながる流れと組立てを考慮して余裕を持った時間配分を決めましょう。

⑤学習プログラムの確認

プログラムの流れと組立て、手法や教材、時間配分、配布物や準備物などできるだけ詳細に学習プログラムを確認しましょう。具体的な流れについては、「学習会の流れ」「解説編」を参考にしてください。

⑥全体の流れのシミュレーション

学習プログラムに基づいて、頭の中で全体の流れをイメージして確認しましょう。

⑦テキストの提示方法

見開きにワークシート書き込み欄、資料、データなどを掲載しています。そのまま印刷して使うことが可能です。内容によっては部分ごとに提示することが効果的な場合もありますので、学習の場面に応じて工夫して使用しましょう。

⑧学習の形態

話し合いやワーク等の活動が行えるグループの人数のめやすは4～6人です。あらかじめグループ分けをしておいてもよいですし、アイスブレイキング（P35）を行う中で、グループを編成することも可能です。参加者の状況や学習のねらい等に応じて編成しましょう。

⑨準備物

参加者人数、使用する用具の確認を行い、準備物は少し多めに用意しましょう。日頃から人権に関する情報を集めておくことがプログラムの組立てに有効です。

●約束事（学習を始める前に参加者全員で確認しましょう）

参加：活動に積極的に参加しましょう

○参加者の語り合いで作っていく学習会です。一人ひとりが積極的に参加するよう心がけましょう。

尊重：互いの考えや感じ方を尊重しましょう

○相手の意見をしっかり聴きましょう。また、一人で長く話し過ぎないようにしましょう。
○発言は強制ではありません。聴いているだけの参加も認めましょう。

守秘：話し合い活動で知った参加者の個人情報を持ち帰らないようにしましょう

○活動の中で知った参加者の個人に関わる話の内容は、他の場所で他人に話したりしないようにしましょう。

社会教育分野における
人権教育で取り組みたい
3つの柱

身近な生活の中にある問題に
気づくこと

自分の問題として
とらえ行動につなげること

能力や可能性が
発揮できる
社会をつくること

（「人権教育推進プラン」より）

Ⅱ 学習会の流れ 【活動の流れと支援のポイント(60分)】

| | | |
|-----|--|---|
| 15分 | 1 趣旨説明 | ○テーマ・学習会の目的を確認します。 →P26～「Ⅱ 各人権問題別ワークシート活用例」参照 |
| | アイスブレイキング グループ分け | ○参加者の緊張をほぐし、場の雰囲気や和やかにします。 →P35「Ⅲ アイスブレイキングの手法」参照 ○話し合い活動が行いやすい人数(4～6人)でグループを作ります。 |
| 30分 | 2 約束事の確認 | ○ワークに入る前に約束事(「参加」「尊重」「守秘」)を確認します。 |
| | 3 ワークシートによる活動 (気づく) [ワークI] どう思いますか? (深める) [ワークII] 考えてみましょう! (行動する) [ワークIII] 語り合しましょう できること! | ○ワークシートを配布して、【ワーク I～Ⅲ】の活動を進めます。 →解説編P26～「2 進め方(ワークシート活用例)」参照 ●イラスト等を参考にして、日常生活にある人権問題について率直な意見を語り合います。 ●資料等を参考にして、各人権問題について語り合い、考えを深めます。 ●地域で今まで取り組んできたこと、これから取り組めそうなことを語り合います。 |
| | 4 各グループの発表 | ○グループで出てきた内容を全体で交流し、できるだけ多くの考えに接するようにします。 |
| 5分 | 5 まとめ・ふりかえり | ○参加者の「気づき」や意見を聞き、学習の整理、共有の場とします。最後に、互いにお礼を言って活動を終わります。 |